

研修報告書

記入 | H30年 4月
所属 & 学年 | 工学部 3年生

留学先大学 (国名)	エジンバラ大学 (スコットランド)
短期研修のプログラム名	スコットランド研修
留学した期間	3.5 週間

1. 留学前 (応募時にたてた目標、留学前に行った準備等)

違う国に行き様々な人たちと触れて、自分の視野を広げることが目標にした。英語に慣れようと思い留学前の2ヶ月ほど英会話教室に通ったり、英会話の参考書を買った。

2. 研修 (内容、大学やホームステイ先で学んだこと、特に努力したこと、上手く行かなかったこと等)

授業はペアやグループでのディスカッションが多く、最終日にはプレゼンテーションを行った。留学前に友達と時事問題についてなど話す機会はあまり無かったため、とても良い授業形式だったと思う。授業内で国立博物館や国会議事堂を見学する時間もあった。

ホームステイ先で自分からホストマザーに話しかけたり、夕食後にすぐ自分の部屋に戻るのではなく、一緒にニュースを見るように努力した。難しい文法や単語は知らなくても大丈夫だと感じたが、中学レベルの基本的な単語などは覚え直してから行くべきだった。

3. 研修後 (目標は達成できたか、課題は見つかったか)

授業でのディスカッション、先生やホストファミリーとの話を通して、自分との考え方の違いを発見するのがとても楽しかったし、視野を広げたいという目標も達成できたと思う。ホストファミリーに日本について聞かれたときに、知らないことも多く答えられないのが残念だったため、これから関心をもってニュースなどを見ていくことが必要だと思った。また、基本的な英語でも自分の考えを伝えられるように努力していきたい。

4. 危機管理等 (身を守るための工夫、金銭管理、異文化生活における注意等)

財布とパスポートは常に目を離さないように注意した。

5. 留学を考えている学生へのメッセージ

日本を発つ直前は不安が大きく1ヶ月間海外で生活ができるのかなと思っていたが、行ってみると毎日が本当に楽しく、現地の大学の先生やホストファミリーはとても優しく様々なことを教えてくれたので、留学をして良かったと心から思った。留学先ではたくさんの良い経験ができると思うので、多くの学生に留学をしてほしいと思う。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
研修費用	60万円	航空券代、授業料、ホームステイ費
海外旅行保険	3万円	
食費	4万円	
交通費	1万5千円	ロンドン旅行など
その他（小遣い、通信費など）	5万円	
計	73万5千円	

自由記述欄

エジンバラの旧市街はとてもきれいな町並みで、歩いているだけで景色を楽しめます。観光スポットも多く、エジンバラ城やホリルード宮殿、カールトンヒルなど様々な場所に行きました。おしゃれなカフェも大学の近くにたくさんあります。新市街は旧市街とは全く違う雰囲気、ショッピングなどを楽しみました。週末の予定は自分で自由に決められるので、2泊3日でロンドン旅行もしました。エジンバラから電車で4時間ほどで行けます。グラスゴーという町にも行きましたが、エジンバラとは違う雰囲気の町でとても楽しかったです。

授業では先生のほかに、メンターという現地の学生がサポートしてくれ、わからない表現や現地の情報などを教えてもらいました。また、大学で開催されている JAPAN DAY というイベントには、日本語を勉強している学生が多く参加していたので、現地の学生とも仲良くなるチャンスだと思います。

エジンバラでの約1ヶ月間は想像していたよりもはるかに楽しく、日本に帰りたくないと思うほどで、留学して本当に良かったと心から思いました。スコットランドの人たちはみんな優しくフレンドリーだったのも一つの理由だと思います。プレゼンテーションのために街頭インタビューをしたときに、現地の人たちのフレンドリーさを実感しました。この短期留学の経験を経て長期で留学したくなったという友達もいるので、長期では不安だという人も、まずは短期での留学を試みるのも良いことだと思います。迷っているなら絶対に留学することをおすすめします。



研修報告書

記入 | 平成 30 年 4 月 7 日(土)

所属 & 学年 | 工学部 2 年生

留学先大学 (国名)	エジンバラ大学 (イギリス)
短期研修のプログラム名	スコットランド特別研修
留学した期間	平成 30 年 2 月 24 日～平成 30 年 3 月 22 日

1. 留学前 (応募時にたてた目標、留学前に行った準備等)

私が今回の留学に応募した理由は、今まで勉強してきた英語がどのくらい使えるのかということと、外国でホームステイをすることによって自分の生活や文化などを見直してみる機会を持ちたいと考えたためです。また、将来的により長い期間の留学を目指したりすることや自分のこれからの学習や研究、仕事につなげたいと考えていました。応募時に考えていた目標として、アカデミックな面では、英語で学び、理解できるようになること、文化的な面では、スコットランドや英国の人々の生活様式について知ることや色々な人とコミュニケーションをとることの 3 つを主な目標として取り組んでいきたいと考えていました。

2. 研修 (内容、大学やホームステイ先で学んだこと、特に努力したこと、上手く行かなかったこと等)

研修の内容としては、一緒にプログラムに参加した名大生とクラスを受けたり、ソーシャルプログラムに参加したりしました。大学では、主に英語での授業を通して今後の英語学習にも役立つ多くのことを学んだり、リサーチプロジェクトやソーシャルプログラムを通してイギリスやスコットランドの文化を学ぶことができました。ホームステイ先では、日常生活をホストファミリーとともにするので、食事に対する考え方など、自分の考えとは異なる多くの考え方を学べたことがとても面白かったです。努力したこととしては、なるべく英語が使えるように学校以外でも心がけ、現地の人にわからないことがあったらなるべく聞いてみるようにしたことです。上手くいかなかったこととしては、自分の伝えたいことを十分伝えることのできる英語力がないことを痛感したことです。耳は少しずつ慣れてきて、大分聞き取りはできるようになったと感じられましたが、やはり自分の思いを完璧に英語で伝えるのは難しく、とてももどかしさを感じました。

3. 研修後 (目標は達成できたか、課題は見つかったか)

研修を終えて、一番達成できたと思う目標は文化面での目標です。スコットランドで過ごすことによって、例えばバスを降りたときには必ずみんなが運転手さんに感謝の言葉を述べるだとか、自分に必要なくなったものでまだ使えるものはチャリティーに出す、など、日本人が持っていないような文化に多くの見習える点があることに気づきました。ホストファミリーとの交流の中でも、スコットランドの一般的な暮らしを体験することができ、とても満足しています。課題としては、英語力やコミュニケーション能力がまだまだ足りないなということを感じました。また、一緒に研修に参加した他の名大生との交流にも大きく刺激を受けることができ、これからの大学生活への強い意欲を持つことができました。

4. 危機管理等（身を守るための工夫、金銭管理、異文化生活における注意等）

イギリスは、日本よりも危険だという認識で留学に行きましたが、スコットランドに関しては、思ったよりも治安は悪くなく、人もいい人が多く警察車両もほとんど見ませんでした。しかし、大金は持ち歩かないとか、夜に細くて人通りの少ない道は通らないなどのことはしっかり意識して、気を抜かずに生活することは大切だと思います。スコットランドの人の話によるとイングランドはより危険だということなので、ロンドンなどに行く場合は、より注意した方がいいと思います。

5. 留学を考えている学生へのメッセージ

少しでも留学に興味があったり、挑戦してみたいと思っているなら思い切って参加してみると思います。海外での貴重な体験もたくさんできるし、そこで出会った他の学生にも大きな刺激を受けることは間違いないです。僕自身もこの研修に参加してとても有意義な春休みを過ごすことができた、とても満足しています。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
研修費用	580,000 円	航空券代、授業料、ホームステイ費
海外旅行保険	22,000 円	
食費	30,000 円	
交通費	30,000 円	
その他（小遣い、通信費など）	100,000 円	おみやげ、観光費、ホテル代
計	762,000 円	

自由記述欄 *現地のおすすめ情報、留学準備におけるアドバイス、留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。



左の写真は、バグパイブ吹きの写真です。エジンバラでは天気の良い日には街のあちこちからバグパイブの音色を聞くことができ、とても心地よい気分になれます。

下の写真はフィッシュアンドチキンの写真です。日本では、イギリスの食事はあまりおいしくないと思われていますが、そんなことはなく、僕はとてもおいしいと感じました。特にスコットランドの郷土料理は、僕の口にはよく合いました。



研修報告書

記入 | 2018年 4月
所属 & 学年 | 医学部 1年生

留学先大学 (国名)	エディンバラ大学 (スコットランド)
短期研修のプログラム名	スコットランド特別研修
留学した期間	2018/2/26 から 2018/3/20 まで

1. 留学前 (応募時にたてた目標、留学前に行った準備等)

私の在籍する学部では、5年生の希望者・成績優秀者は外国に留学し、名古屋大学の単位として臨床実習をすることができます。主な行先はオーストラリア、ヨーロッパ、またはアメリカです。私は将来この海外実習に参加することを目標に、自身の英語力を向上させるとともに海外生活を経験しておきたいと考え、エディンバラ大学研修に応募いたしました。

2. 研修 (内容、大学やホームステイ先で学んだこと、特に努力したこと、上手く行かなかったこと等)

エディンバラの町は多くの歴史的建造物が集まるオールドタウンと、18世紀以降に計画的に整備されたニュータウンが見事な対比を見せ、世界遺産にも登録されているとても美しい町です。歴史ある石造りの建物が並ぶ風景は日本では味わうことのできない荘厳な雰囲気があります。授業では二人一組で、リサーチプロジェクトとして街頭インタビューを行い、英語による25分程度のプレゼンテーションを行いました。また普通の授業ではネイティブの先生、チューターに、日本の参考書には載っていない英語のニュアンスを教えていただきました。ホームステイ先は、50代のホストマザーと二人暮らしでした。ホストマザーと食事中、食後に、その日の出来事から安全保障や倫理的問題まで多岐にわたる内容の話をしていました。またホストマザーの孫の誕生日会など、家族行事にも参加させてもらえました。日本との文化的違いを知るよい機会となりました。

3. 研修後 (目標は達成できたか、課題は見つかったか)

1か月海外で過ごした経験は私にとって忘れがたいものとなりました。英語のリスニング能力は飛躍的に向上したと思っています。一方、まだまだ英語で自分自身の意見を表現する能力は未熟であると強く感じました。2年生となり、専門の授業ばかりになってしまい英語の勉強をする機会が減ってしまうので、全学教養の特別英語セミナーを受講するなどして、英語力向上のために今後も努力していきたいです。

4. 危機管理等 (身を守るための工夫、金銭管理、異文化生活における注意等)

エディンバラは治安もよく比較的安全な街だったと思っています。主な公共交通機関がバスであったので、5年に1度の大豪雪の中、バスがほとんど運休し、家に帰れないのではないかと考えたことが唯一不安を感じたことでした。アプリやツイッターを使って情報収集することができたので良かったです。

5. 留学を考えている学生へのメッセージ

自由に時間を使える学生でいられる期間はごくわずかです。費用もかかりますが、迷っているなら留学すべきです。旅行では得られない経験はいつかあなたの人生を助けてくれることでしょう。私にとって留学とは、普段と違う環境で、色んな人や出来事を通じ自分ともう一度向かい合い、今後の人生について目標を立てる素晴らしいチャンスでした。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
研修費用	400000 円	航空券代、授業料、ホームステイ費—奨学金
海外旅行保険	25000 円	
食費	50000 円	
交通費	30000 円	
その他 (小遣い、通信費など)	75000 円	
計	580000 円	

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報、留学準備におけるアドバイス、留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

エディンバラはとても寒く、3月でも氷点下の気温であるのでしっかり防寒対策をしていくようにしてください。ブーツかトレッキングシューズは必要だと思います。

週末には、電車で2泊3日ロンドン、日帰りバスツアーでネス湖・ハイランドへ旅行しました。ロンドンで観たレ・ミゼラブル、ハイランドの雄大な風景は素晴らしかったです。

最後に留学の仲間、助けていただいた先生方、そしてホストファミリーには心から感謝しています。またお会いできることを楽しみにしています。ありがとうございました。



(ネス湖にて)



(エディンバラ城)

研修報告書

記入 | 2018年 4月
所属 & 学年 | 工学部 4年生

留学先大学 (国名)	エディンバラ大学 (イギリス, スコットランド)
短期研修のプログラム名	スコットランド特別研修
留学した期間	2017/2/25 ~ 2017/3/22

1. 留学前 (応募時にたてた目標、留学前に行った準備等)

自分は工学部なのでこの先英語に触れる機会が多くなっていき、英語で発表をする機会も少なからずあると思い、アカデミックな英語を学べるこの研修に参加した。この研修では、最後に英語でのプレゼンがあるので、そこで“わかりやすくはっきりと自分の意見を英語で言うようにしよう”というのが自分のこの研修に対する目標だった。

2. 研修 (内容、大学やホームステイ先で学んだこと、特に努力したこと、上手く行かなかったこと等)

講義は月、火、木が3コマ、水、金が午前からのみの2コマであった。スコットランドの政治や歴史、文化、経済について学びながら、リスニングやリーディング、アカデミックな文章の書き方などを学んだ。また、フィールドワークとして、町の人にアンケート調査を行った。3~4人で小グループを組んで話し合ったりすることが多かったので、自分の意見を英語で言う機会がとても多かった。

授業だけでなく、博物館や議場の見学、ケリー (伝統的なダンス) への参加など実際に見たり、聞いたり様々な形で文化を体験することができた。ホームステイ先では、夕食時になるべくホストファミリーとその日あったことを話すようにしていた。

特に努力したことは、とにかく話すということ。英語でなんて言えばわからないときでも、自分のわかる単語の範囲で、とにかく話せば、ある程度意味は伝わり、先生やホストファミリーはそれを端的に表す表現を教えてくれた。なので、黙らずに、積極的に話すことを特に心がけていた。

3. 研修後 (目標は達成できたか、課題は見つかったか)

最後のプレゼンでは、原稿やメモなどを見ずに発表することができ、担当の教員からも良かったと言ってもらえたので、目標は達成できたと思う。出先でもいろいろな人と話すことができたので、その点でも満足している。ただ、日常の何でも無い言い回しを英語でどう言えばいいかなど、意外に学校で習わないフレーズをしっかりと把握しておく、より会話を楽しむことができると思う。

4. 危機管理等 (身を守るための工夫、金銭管理、異文化生活における注意等)

パスポートや保険のコピーなどは常に肩掛けカバンに入れて持ち歩いていた。
お金は現金ではなくなるべくカードで支払っていた。
日本では何気ない仕草でも、海外では失礼になったりすることがあるのでそこは気を付けた。

5. 留学を考えている学生へのメッセージ

理系の学生、特に工学系の学生は早い時期から英語の教科書や論文を取り扱うので、この研修に参加する価値は大いにあると思います。行くか行かないか迷っているならぜひ、行くことをお勧めします。エディンバラは治安もよく現地の人も優しいので海外に行くのが初めてでも安心して生活できると思います（僕がそうでした）。

また、実際に海外へ行くことで日本との違いを改めて実感することができ、自分の見聞を広げることもできます。先生や現地のメンターの方もすごく優しいです。ぜひ前向きに検討してみてください。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
研修費用	54万円	航空券代、授業料、ホームステイ費
海外旅行保険	2万5千円	東京海上日動 A6タイプ
食費	円	
交通費	3万円	ロンドン旅行：2万 バス定期：1万
その他（小遣い、通信費など）	15万円	ポケットWi-Fi：3万 小遣い：12万
計		70万円

自由記述欄 *現地のおすすめ情報、留学準備におけるアドバイス、留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

キャンパスからほど近いPIE MAKERというお店はお勧め。

ロンドンなどへ泊りで観光に行くときはホストファミリーにおすすめの宿を聞くのが無難。

ハズレなホテルを引いてしまった友達も...

<写真>



校舎の外観



スコットランドの議場



ロンドンにて、シャーロック・ホームズ博物館

短期研修報告書

記入 | 2018年 4月

所属&学年 | 医学部 3年生

留学先大学 (国名)	イギリス Edinburgh University
短期研修のプログラム名	Edinburgh
留学した期間	2018年3月23日~2018年3月21日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

将来の専門的な留学へ向けての英語力の向上と見聞を広げるため、申し込みました。準備としては語彙力、リスニング力を主に向上させるため勉強を行いました。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

日本の学校では学べないようなイントネーションやアクセントを重点的に学びました。学生の交流はあまりなく少し満足はいきませんでした。何人かの学生とは交流を深めることができましたとおもいます。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

治安はよく、盗みなどを目にする事はなかったので安心して留学を楽しめました。持参して良かったものは、カイロです。雪がすごく困ったのでブーツを買いました。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

防犯用の鞆を持っていったので、重宝しました。

5. 留学を終えて感じる事&留学を考えている学生へのメッセージ

初めて留学をする人にも英語自体聞き取りやすく、治安も良いのでアクティブに楽しめました。非常に良いプログラムだと思いました。初めての方にもオススメします。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	200000 円	
海外旅行保険	10000 円	
授業料 (教材費含)	100000 円	
滞在費 (寮費など)	100000 円	
食費	50000 円	
交通費	5000 円	
その他 (小遣い、通信費など)	50000 円	
計	510000 円	

研修報告書

記入 | 2018年 4月
所属&学年 | 文学部 2年生

留学先大学（国名）	エジンバラ大学（スコットランド、英国）
短期研修のプログラム名	スコットランド特別研修
留学した期間	2月25日～3月20日

1. 留学前（応募時にたてた目標、留学前に行った準備等）

目標：英語力の向上、スコットランド独自の文化や意識を学ぶ

準備：スコットランドの歴史や文化について大まかに調べた。英語で日記を書き、英語に親しんだ。

2. 研修（内容、大学やホームステイ先で学んだこと、特に努力したこと、上手く行かなかったこと等）

Writing や Presentation を通して学術英語を扱う上で重要なスキルを得ることができた。この研修から、用意された答えに納得するのではなく、自分から学びに行くことの重要性を感じた。ホストファミリーや現地の人との会話では聞き取れないことや聞き取ってもらえないこともあり、英語学習における自分の課題を見つけられた。英語は特に得意ではなかったが、英語での会話は新鮮で楽しかったので、積極的に現地の人々と会話するように努めた。

3. 研修後（目標は達成できたか、課題は見つかったか）

スコットランドの人々が今尚イングランドからは独立した政治や民族意識を持ち、自文化に誇りを持っていることを紙面上の情報ではなく実際に知ることができた。また、生活の中で日本とは異なる考えや文化が存在することを実感できた。課題はそうした意識や考えの違いの源がどこにあるのかを調べる必要を感じたことと、現地の人との会話から英語の Listening や Speaking のレベルをもっと向上させなければいけないと思った。

4. 危機管理等（身を守るための工夫、金銭管理、異文化生活における注意等）

財布とパスポートは小さめのショルダーバッグに入れ、常に身につけて行動した。夜間や治安のあまり良くない地域での行動はできるだけ大人数で行うように心がけた。また、洗濯を日本ほど頻繁に行わないなど日常生活で不自由を感じることもあるかもしれないが、それを不満に思うのではなく、「郷に入っては郷に従え」の通り、違いを受け入れてしまった方が快適に生活できることに気づいた。

5. 留学を考えている学生へのメッセージ

出発前は不安や緊張を感じ、楽しめないのではないかと感じてしまうかもしれませんが、「案ずるより産むが易し」で、始まってしまえば些細な不安要素など気にならないくらい楽しめるのではないかと思います。言語や文化の違いに必要以上に気負わず、積極的に現地の人や物と交流することが大事です。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
研修費用	約 54 万円	航空券代、授業料、ホームステイ費
海外旅行保険	27000 円	東京海上保険
食費	約 30000 円	毎日の昼食代、週末（金土日）の夕食代、お茶代
交通費	約 20000 円	エジンバラ市内のバスのカードパス、ロンドン・グラスゴーへの往復の電車賃
その他（小遣い、通信費など）	約 60000 円	お土産代、レンタル Wifi 代、観光地への入場料
計		約 68 万円

自由記述欄

↓↓↓

スコットランドは、近年独立のための住民投票が行われたことで世界から注目を浴びている国の1つである。スコットランドの人たちは「イギリス人」と呼ばれることをよしとしないし、自国に高い誇りを持っていることが言葉や街から見て取れた。私は今回初めて英国を訪れたのだが、知識として英国が4つの国々から成るということを知ってはいたものの、イングランドとそれ以外の区別がほとんどついていなかった。故に、スコットランドの人たちの民族意識の高さには驚かされた。民族意識の高さは政治意識の高さにも繋がっており、どちらも日本人には乏しいものだったので、文化の違いというものを肌で感じた。スコットランドは英国の一部になる以前の方がなった後よりも長く、街中にはスコットランドの伝統と固有性を感じさせる建物が数多くあったので、イングランドへの反発心はとても自然な感情だと思った。

エジンバラはハリーポッターの作者、JK ローリングゆかりの土地でもあり、彼女がシリーズ第1作の「賢者の石」を執筆したカフェや、ハリーポッターの世界に飛び込んだかのような街並みが体験できるので、ハリーポッター好きは必ず訪れるべきだと思う。世界遺産の街であるエジンバラは歩くだけで歴史を感じ、必ず魅了されると思う。イギリスの料理はまずいという心配もあるかもしれないが、最近は各国のレストランがある上、サンドイッチやスコーン、紅茶は本場なだけあってとても美味しかった。ハギスやフィッシュ&チップスといった名物料理も百聞は一見に如かずで試してみると意外と口に合うかもしれないのでおすすめする。

留学に当たって必要なのは「先入観をなくす」「何事にも臆さない心」だと思う。日用品は現地でも買えるし、知らないことはインターネットで調べられる。しかし意識は自分自身だけのものである。後悔のないように、自分から発信、取得する勇気を持って行動することが必要である。



Bagpipe



Edinburgh Castle



JK ローリングがハリーポッターの
第一作を執筆したカフェ



クローン羊のドリー



スコットランドのダンス集会 “ceilidh”

研修報告書

記入 | 2018年 4月
所属 & 学年 | 医学部 2年生

留学先大学 (国名)	エディンバラ大学(スコットランド)
短期研修のプログラム名	エジンバラ大学特別研修
留学した期間	2018/02/25~2018/03/22

1. 留学前 (応募時にたてた目標、留学前に行った準備等)

ホストファミリーとできるだけたくさんコミュニケーションをとる。現地の外国人留学生と話す。日本にはない文化を学ぶ。留学前にガイドブックを購入してみどころを知ったり、ネットでスコットランドの歴史について調べたりしました。

2. 研修 (内容、大学やホームステイ先で学んだこと、特に努力したこと、上手く行かなかったこと等)

大学の授業では、英語で街頭調査を行いその結果をもとに英語でプレゼンテーションをする授業や、与えられたテーマについて英文(パラグラフ)をつくったり、日本人に特有の英語のなまりを直すレッスンなどがありました。

ホームステイ先では、非常に初歩的ではありますが、自分の気持ちを伝えるコミュニケーションスキルが身についたと思います。(料理の味、今日の気分、テレビ番組の感想など)できるだけホストファミリーとともにいる時間を長くとり、英語の上達に努めようと努力しました。

3. 研修後 (目標は達成できたか、課題は見つかったか)

日本に帰ってきて、外国人と話すことに対する抵抗が大きく減ったと感じました。例えば留学後、日本の観光地に行ったとき、英語で話を振られてもぱっと反応することができました。

4. 危機管理等 (身を守るための工夫、金銭管理、異文化生活における注意等)

パスポートは常に持ち歩きました。留学前、日本であらゆるリスクをシミュレーションし、緊急連絡先や国際電話のかけ方、家族やホストファミリーとの連絡方法を念入りに確認しました。夜は平日はホストファミリーと一緒に食事をするため七時前には帰宅していたので、夜間で身の危険を感じる場面はありませんでした。

5. 留学を考えている学生へのメッセージ

短期留学でもやる気次第で大きな達成感が味わえると思います。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
研修費用	50万円	航空券代、授業料、ホームステイ費
海外旅行保険	3万円	
食費	円	
交通費	10000円	
その他（小遣い、通信費など）	10万円	
計	70万円	

自由記述欄 *現地のおすすめ情報、留学準備におけるアドバイス、留学エピソードなど自由にご利用ください。
写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

冬のエジンバラは相当寒かったです。防寒対策は万全にすべき。

エジンバラの人々は親しみやすい人が多く、大雪で交通がマヒし帰り道に困ったとき助けてくれた人もいました。イギリスの食事はまずいと日本で聞いていましたが、想像以上においしかったです。スコットランドの物価は高いので、お昼ご飯などが少々高くても目をつぶらないとめいっぱい楽しめないかもしれません。お勧めのランチはテイクアウトのサンドイッチ屋さんです。

ホストマザーへのお土産には日本らしいもので、あまり大きすぎず邪魔にならないものがいいと思います。食べ物(おかしなど)は口に合わなさそうでした。干支の絵のついた湯飲みが喜ばれました。以下はエジンバラ市街地の写真です。歴史がありとてもきれいです。



研修報告書

記入 | 2018年 4月
所属 & 学年 | 医学部 3年生

留学先大学 (国名)	スコットランド
短期研修のプログラム名	スコットランド特別研修
留学した期間	2/22-3/24

1. 留学前 (応募時にたてた目標、留学前に行った準備等)

英語力の向上と異文化理解を目標にしていました。留学前には、現地で困らないようにそれまでよりも英語に触れる機会をふやしたり、スコットランドの文化だけでなく、日本の文化についても調べたりしました。また、現地でのリサーチプロジェクトのテーマをウイスキーと決め、基本的なリサーチを開始しました。

2. 研修 (内容、大学やホームステイ先で学んだこと、特に努力したこと、上手く行かなかったこと等)

研修の最終的な課題は英語で20分程度のプレゼンテーションをすることでした。20人に街頭でアンケートをとり、そのデータをもとにスコットランドのウイスキーカルチャーについて考察しました。街頭で知らない人に話しかけるのは緊張しましたが、親切な人が多かったです。大学にはロンドンやアメリカなど、異なる場所の出身の人が来ていたので、それぞれアクセントが違い、最初はうまく聞き取れないことがありました。聞き取れないときは聞き返すことを心がけ、後半はスムーズに意思疎通ができるようになりました。

3. 研修後 (目標は達成できたか、課題は見つかったか)

英語力については、エジンバラ大学での講義のおかげもあり、語彙が増えました。また、1か月、毎日英語を聞き、話していたので、リスニングの力が付いたと思います。難しい話題だと、わからない単語があり、理解できないときがあったので、話の内容を推察する力と、興味のある分野の専門的な単語を覚えることが今後の課題です。

4. 危機管理等 (身を守るための工夫、金銭管理、異文化生活における注意等)

財布は二つ持っていき、お金やクレジットカードを分散させて持ち歩きました。人が多い場所で財布を外に出さないことや、使った財布をしまってから店を出ることを心がけました。スコットランドでは、日本より早寝早起きの人が多いように感じました。生活リズムを滞在先に合わせることを重要だと思います。

5. 留学を考えている学生へのメッセージ

英語が通じるかなとか、ホストファミリーと仲良くできるかなとか、留学前はいろいろな不安があると思います。でも、留学してみれば、ほとんどのことは何とかできるので、心配する必要はないと思います。留学は、普段と異なる相手とかかわることのできる素晴らしい機会です。ぜひ、楽しんで留学に参加してください。

6. 研修費用

内訳	おおよその額	備考
研修費用	50万円	航空券代、授業料、ホームステイ費
海外旅行保険	3万円	
食費	3万円	
交通費	5万円	
その他（小遣い、通信費など）	10万円	
計	71万円	

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報、留学準備におけるアドバイス、留学エピソードなどご自由にご利用ください。
写真添付なども歓迎します。

エジンバラにはパブがたくさんあり、外国の人も多いので、一度は夕食を食べにパブに行くと楽しいと思います。どこに行っても町並みが素敵なので、カメラを持っていくのが良いとおもいます。

週末に旅行に行くことがあると思いますが、ホテルや電車のチケットは、現地で天気予報などを確認してから買ったほうが良いかもしれません。

急に寒くなったり、冬だと雨や雪が降るかもしれないので、ぬれてもいい靴が一つあると役に立ちます。

研修報告書

記入 | 2018年 4月
所属 & 学年 | 工学部 2年生

留学先大学 (国名)	エディンバラ大学 (イギリス)
短期研修のプログラム名	スコットランド特別研修
留学した期間	3.5 週間

1. 留学前 (応募時にたてた目標、留学前に行った準備等)

私は3年次の交換留学プログラムに参加するために今回の短期研修に申し込みました。留学中は語学力の向上のみでなく、外国の文化に触れて異文化理解を深めるという目標がありました。

2. 研修 (内容、大学やホームステイ先で学んだこと、特に努力したこと、上手く行かなかったこと等)

研修中はリサーチプロジェクトに取り組みました。30人以上のエディンバラ市民に街でスコットランド独立についてのインタビューをして、20分くらいのプレゼンを行いました。

3. 研修後 (目標は達成できたか、課題は見つかったか)

語学力の向上については特にリスニングの力がついたと思います。
ホストファミリーがとても早口で話すので必死に理解しようとした結果だと思います。

4. 危機管理等 (身を守るための工夫、金銭管理、異文化生活における注意等)

買い物や食事をしたときはレシートを必ずもらい、いつどこで何にいくら使ったかをまとめていました。

5. 留学を考えている学生へのメッセージ

外国の大学は日本の大学に比べて留学生が多かったイメージがあります。
いろいろな国からきた学生と一緒に学ぶことはとても貴重な経験になると思います！

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
研修費用	52万円	航空券代、授業料、ホームステイ費
海外旅行保険	3万円	東京海上日動の保険に加入しました
食費	5万円	物価が高く、外食をすると食費がかさみます
交通費	3万円	1か月のバス定期券を購入しました
その他 (小遣い、通信費など)	2万円	SIM やポケット Wi-Fi はレンタルしませんでした
計	64万円	

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報、留学準備におけるアドバイス、留学エピソードなどご自由にご利用ください。
カイロや手ぬぐい、日本食といったような日本文化ならではの物をお土産で持っていくとホストファミリーが喜んでくれます。スコットランドは非常に寒く、大量の雪が降ります。雪の中をあるける靴と防水性の手袋があるとよいと思います



研修報告書

H30年4月8日

工学部3年生

留学先大学（国名）	The University of Edinburgh（UK）
短期研修のプログラム名	スコットランド特別研修
留学した期間	H30年2月25日～3月22日

1. 留学前（応募時にたてた目標、留学前に行った準備等）

イギリスへの長期留学に必要な IELTS Score6.5 を習得できる英語力を目指し、短期研修に参加した。また日常生活で使う英語については明日香出版社「72 パターンに+α で何でも話せる英会話」を用い、勉強した。

2. 研修（内容、大学やホームステイ先で学んだこと、特に努力したこと、上手く行かなかったこと等）

想像していた以上に英語での授業の密度が濃く、また課題も多かった。しかし自分の英語力の向上を感じることができる内容であったため苦もなく、充実した研修生活を送ることが出来た。またスコットランドのこと（道やおいしいランチのお店など）についてたびたび歩いている知らない人に尋ね、英語を使う練習をした。

エディンバラ大学の日本語専攻の人は僕たち日本人に興味を持ってくれていたの仲良くなれた。英語で話し友達が出来たことは英語を使う自信に繋がった。

3. 研修後（目標は達成できたか、課題は見つかったか）

リスニングについては目標を達成できたが、やはり単語は知っていても英語→日本語の訓練を受験のために積んでいたので会話の最中に単語が出てこないことが多々あった。渡航前には話したい意味の単語をアウトプットできるような勉強しておくといいと感じた。

発音についても r と l、s と th など区別をしてこなかったので理解してもらえず苦労した。

4. 危機管理等（身を守るための工夫、金銭管理、異文化生活における注意等）

防犯用バッグにパスポートとお金をいれ、身につけていた。

夜は明るく人通りの多い道を通るよう心がけていた。

5. 留学を考えている学生へのメッセージ

大学生には少し費用が高いかもしれませんが僕にとってその価値は十分ある研修でした。

勇気を出して参加してみてください。とても刺激的で充実した春休みを送れます。

6. 研修費用

内訳	おおよその額	備考
研修費用	円	航空券代、授業料、ホームステイ費
海外旅行保険	円	
食費	約 5 万円	
交通費	約 5 万円	新幹線、ロンドン往復、エディンバラ&ロンドンでの交通費
その他（小遣い、通信費など）	約 10 万円	お土産、携帯など
計		約 80 万円

自由記述欄



・IN EDINBURGH

スコットランドにはケイリーという伝統的なダンスがあり、とても楽しいです。お酒など飲みながら陽気に踊っていれば向こうの人とも仲良くなれると思います。また Bar も向こうの人も陽気になっているので、楽しくおしゃべりできると思います。Princess street を 1 本入ると rose street がありそこは飲み屋が多くおすすめで



・IN LONDON

橋はロンドンにあるタワーブリッジです。写真で見るとの通り船などを通すため橋が開きます。僕たちが行ったときはたまたま上がっていましたが、一日に一回上がるかどうかくらいの頻度らしいです。調べてから行きましょう。ピカデリーサーカスでミュージカルを見るのもしっかり調べた方がいいです。僕たちは日曜日に行ったらなにもやっていませんでした。